

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142L008		木材加工実習 (Practice of woodworking II)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	1	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 中原久志, 市原靖士 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp (中原) 内線 7590 (中原)											
授業の概要	木工機械の種類や機構、調整方法を理解する。 木工機械を取り扱ううえでの注意点を理解する。 木工機械を用いて、製作品の製作を行うことができる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 木材加工における木工機械の活用と調整について理解する。																	
目標2 木工機械の機構と調整方法、作業上の注意点を実践的に学ぶ。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	木工機械の種類、形状、機構：丸鋸盤																
2	木工機械の種類、形状、機構：手押しかな盤																
3	木工機械の種類、形状、機構：自動かな盤																
4	木工機械の種類、形状、機構：帯鋸盤、糸鋸盤																
5	木工機械の種類、形状、機構：角のみ盤、ボール盤																
6	木工機械の種類、形状、機構：ベルトサンダー																
7	木工機械の作業上の注意と精度検査：丸鋸盤																
8	木工機械の作業上の注意と精度検査：手押しかな盤、自動かな盤																
9	木工機械の作業上の注意と精度検査：帯のこ盤、糸のこ盤																
10	木工機械の作業上の注意と精度検査：角のみ盤、ボール盤																
11	木工機械の作業上の注意と精度検査：ベルトサンダー																
12	木工機械用治具の製作：丸鋸盤																
13	木工機械用治具の製作：その他																
14	木工機械を用いた製作品の製作 製作実習 1																
15	木工機械を用いた製作品の製作 製作実習 2																
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認					実技, ディスカッション, 評価					工 夫 そ の 他 の						
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	教科書及び配布プリントを熟読する															
	事後学修	課題レポートを作成する															
教科書	随時プリント資料を配付																
参考書	木工用機械（雇用能力開発機構職業能力開発総合大学校能力開発研究センター） 木工材料（雇用能力開発機構職業能力開発総合大学校能力開発研究センター） 木材加工系実技教科書（雇用能力開発機構職業能力開発総合大学校能力開発研究センター）																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	製作品	40%															
	作業精度	20%															
	レポート	40%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																